

中学部教育計画

中学部では、基本的な生活習慣の確立を目指し、将来の自立や社会参加に必要な知識・技能・態度を教育活動全般を通して培っていく。そのために、生徒の実態を的確に把握し個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成するとともに、その指導計画を基に生徒一人一人の課題や教育目標の具現化に向けて支援していく。

1. 学校教育目標（目指す児童像）

(1) いろいろな運動に進んで取り組み、力いっぱい活動する生徒（健康）
ア 好き嫌いせず、感謝の気持ちを持って食べることができる。 イ 手洗い・うがいなど、健康に過ごすための方法を覚え、実践することができる。 ウ 自分の体調を感じ取り、伝えることができる。
(2) 自分のことは自分でやろうとし、より良い生活を目指すことができる生徒（自立）
ア 自分から挨拶をしたり、身だしなみに気を付けたりすることができる。 イ 友達と協力し合ったり、助け合ったりする。 ウ 学校生活のルールを守り、集団生活を送ることができる。
(3) 勉強することに興味・関心を持ち、進んで学習に取り組む生徒（学習）
ア 相手の顔を見て話を聞いたり、自分なりの方法で発表したりすることができる。 イ 学校で行う様々な活動に、期待をもって前向きに取り組む。 ウ 自分でできることに喜びを感じ、最後まで諦めずに取り組む。 エ 生活に必要な数量や言葉などの基礎を身に付け、生活に生かすことができる。
(4) 基本的な技術を身につけ、喜んで働く生徒（勤勉）
ア 手順やルールを守り、正しいやり方で作業を行うことができる。 イ 責任感を持って根気強く仕事を行うことができる。 ウ 作ることに楽しみを見だし、働く喜びを感じることができる。

2. 今年度の重点努力事項

- (1) 個別の支援計画及び個別の指導計画を基にし、個に応じた指導・支援に努める。
 - ・ T T間による、きめ細やかな打合せを確保・推奨することで、より良い指導を目指す。
 - ・ 保護者と、合理的配慮について話し合いを進める。
- (2) 発達面で能力差のある集団の中における効果的な学習指導のあり方を探る。
 - ・ 指導体制の見直しや、指導（略）案を基礎にした事前の打合せを実施する。
 - ・ O T（作業療法士）や、ST（言語聴覚士）等のアドバイスを取り入れ、指導・支援に生かす。
- (3) 自閉症など広汎性発達障害の生徒に対する指導・支援のあり方を探る。
 - ・ 視覚支援や絵カードの内容、掲示（提示）物の統一など、効果的な場面での活用を探る。
 - ・ 災害時等において、自分の身を守るための正しい行動ができるよう、定期的に訓練を実施する。
- (4) 生徒の成功体験を増やすことで、自信を持って学校生活を送ることができるよう指導・支援に努める。
- (5) O J Tの手法を取り入れた学部運営、学部会の実施を進める。